

口腔がんの腫瘍簇出における予後危険因子としての免疫組織学的検討に関する研究

1. 研究の対象

口腔がんセンター開設～平成28年3月31日までに口腔がんセンターにおいて加療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

近年、大腸がんの診断では簇出(ぞくしゅつ)という新たな評価法を用いることで、腫瘍の悪性度が検討されています。われわれは、検査・手術の目的で採取された腫瘍組織標本を用いて簇出を免疫組織学的に評価することで、口腔がんにおける腫瘍の悪性度を検討したいと考えています。臨床検体の解析から得られたデータと、その患者さんの臨床情報(病状)との関連性を調べるために、患者さんの診療記録(カルテ情報)を使用させていただく場合もあります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、血液データ、画像データ(CT, MRI等)、腫瘍の原発部位、治療法等

試料：手術で摘出した組織等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

電話： 047-322-0151

研究責任者：

東京歯科大学大学院歯学研究科オーラルメディスン・口腔外科学講座 野村 武史